

徳地森の子くらぶ ～ポン太からの挑戦状！お宝目指して旅に出よう～

平成30年2月24日（土）～25日（日）

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】 73名（小学校4年生：34名、小学校5年生：31名、小学校6年生8名）、法人ボランティア4名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:00 始まりの会
- 11:20 みんなであそぼう！（アイスブレイク）
- 12:00 お弁当タイム
- 13:00 ポン太の森の探検隊（ネイチャービンゴ）
- 18:30 天体観察

2日目

- 9:30 オリジナルフォトフレームづくり
- 13:00 さよならの会
- 14:00 バス乗車/終了

「始まりの会」

「みんなで遊ぼう！（アイスブレイク）」



今回の森の子くらぶには、73名の子供が参加しました。はじめて会う子供同士で、とても緊張した様子の子供達でしたが、始まりの会やアイスブレイクでの自己紹介やゲームが始まると笑い声が溢れる

「ポン太の森の探検隊（ネイチャービンゴ）」

「天体観察」



ポン太の森の探検隊では、ゲーム開始前の作戦タイムから盛り上がり、冒険マップを見ながら時間配分やコースを確認して出発しました。

グループの中での、「自分の役割」を意識しながらの活動を行い、8グループすべてがミッションを達成しました。

「オリジナルフォトフレームづくり」



施設内の遊歩道を歩いて回り、どんぐりや木の枝などを集めました。その後、フォトフレームに絵を描いたり、拾ってきたどんぐりを飾り付けるなどして、自分だけのオリジナルフォトフレームをつくりました。

最後に、班活動を共にした仲間の写真が配られ、写真の裏側に「自分へのメッセージ」として目標や夢を書込み、作品が完成しました。



参加者全員で記念写真

【参加者の声】

「最初は不安だったけど班のみんなが話しかけてくれた。また参加したいと思った」「みんなでものを貸し合ったり協力して1日目よりも、2日目の方が話し合えた」「初めてあったみんなと楽しく過ごせるゲームや工作ができて楽しかったです」「初めて会う人にも話せるようになった。新しい友達ができた」などの感想をいただきました。

【担当者より】

今回の森の子くらぶでは、活動後の話合いで、たくさんの感想や意見が多く上がりました。グループでの活動が中心だったため、活動前後にグループで集まって話合いをする時間をプログラム活動時間とは分けて設定したことが参加者の活発な発言につながったと考えられます。

今年度、「森の子くらぶ」で実施してきたプログラム（ネイチャービンゴ）を基に、クイズの内容・難易度をアレンジして活動を行うことができました。1年間通して、複数回に渡って本事業に参加している子供もいる中で、満足度の高い事業を実施することができました。

参加した子供達からは、雪遊びやそり遊びなどの外遊びがしたいという意見が寄せられました。今後行われる事業での活動プログラムに取り入れていければと思います。